

# 今年から水田利用再編第2期対策

## 転作物の集団栽培、団地化を

米の消費量は、年々減少し昭和三十年代のピーク時の約三分の二となりました。これに反して水稲の収量は、着実に増加しております。そして現在の古米の在庫量は、六百六十万石でこれは国民の消費量の約七カ月分に相当する量となっております。このような米の需給事情から水田再編対策の第二期対策が今年から実施されることになりました。第二期対策の内容は、原則として第一期と同じですが、団地化加算、地域振興作物加算制度などが新設されました。以下、第二期対策の概要についてお伝えし、皆さんのご協力をお願いします。

### 転作物目標面積は

七百六十二ヘクタール

第二期対策は、五十六年から五十八年度までの三年間で実施されます。

本市の転作物目標面積は、水田

総面積の十八％に当たる七百六十二ヘクタールとなっております。

この配分面積は原則として三年間固定されるものですが、五十六年度に限り、昨年の冷害を考慮した緩和措置がとられ七百九ヘクタールとされています。



下川谷地区での説明会

### 春の全国高校バレーボール大会初出場

大館鳳鳴高校バレーボール部

監督 田村正男さん(33)



「組み合せにもよりますがベスト8の力があります」と力強く話す大館鳳鳴高校バレーボール部監督の田村正男さん。



この二月の西奥羽大会で、

ライバルの大館工業高校を破り初の全国大会へ出場します。田村さんは昨年の春母校鳳鳴高校へ、そしてバレー部の監督に就任しました。いまのチームの特徴は「傑出した選手はいませんが、それが逆にチーム全員のこと、去年の国体に出場した選手がそのまま残り試合に就任しているのが強味です」監督に就任して以来、公式戦十五戦全勝「名門復活か」「まぐれで勝っているのです」と笑います。いまの高校生について「わた

### 昭和56年度 奨励補助金の種類 (10アール当たり)

種 類	基本額		加算額	
	全国平均 (467kg)	大館市 (527kg)	計画加算 (転作物に 応じた額)	団地化 加算 (定額)
転作物奨励補助金	50,000	54,000	7,200	10,000
特定作物	大豆、麦、飼料作物、ソバ等	50,000	54,000	7,200
永年性作物	果樹、ホップ等	50,000	54,000	7,200
一般作物	等小豆、たばこ、農業生産施設等	35,000	39,000	5,500
野 菜	野 菜	30,000	34,000	—
管理転作物奨励補助金	転作物の場合	35,000	39,000	5,500
保全管理の場合	保全管理の場合	35,000	39,000	—
土地改良通年施行補助金	35,000	39,000	—	—

### 転作物目標面積の配分について

五十五年度に実施した「大館方式」——新たな転作物目標面積の積み増し分を、集団が一般農家に代って転作物する方法——は採用しないことになりました。

いままで配分を行っていなかった飯米農家に対しても配分します。

五十六年度分の配分については、冷害の被害状況により緩和措置をとります。五十五年度において目標を達成しなかった農家に対しては未達成面積を五十六年度分に加算します。

### 転作物推進作物

特定作物 小麦、大豆、ソバ、飼料作物

一般作物 ねぎ(地域振興指定作物)、十アール以下千円の補助金加算、夏秋キヌウリ、夏秋トマト、ヤマノイモ

団地化と計画(集団)転作物の推進について

複合経営の育成と転作物の定着化を図るため、一団地三ヘクタールを対象に、暗渠排水などの土地改良事業に対

し、工事費の相当額を市が助成します。また、団地化や計画(集団)転作物を積極的に推進するため、集落や集団の自主的な活動を促進するため補助金を交付します。

### 水田預託の期間を延長

農協等への水田の預託期間については、現行どおり連続して三年未満とすることが原則となっておりますが、立地条件や労働事情などで水田預託を活用しなればならない地域については預託期間を延長することができ

### 永年性作物などの取扱いについて

果樹、ホップ、施設園芸、農業生産施設などで、五十七年度以降に奨励補助金の交付期限が切れる転作物実施水田については、五十七、五十八年度に限って転作物目標面積の達成に算入できま

※第二期対策など詳しいことについては、市農林課農業経営係へお問い合わせください。

49-3111

### 広く深く……

春の胎動が感じられる弥生は卒業式のシーズン。時間の重複の関係もありまして全部に出席できませんお詫び申し上げます。卒業生のみなさん、そして父母のみなさんに紙面をかりて心からお祝い申し上げます。

みなさんの卒業は二十一世紀に向けての卒業です。その二十一世紀はみなさんが創造し



No. 28

今よりも更に人間が大切にされる社会でなければならぬ。そうなることは間違いない。そんなことは世界という連帯と協調の中でとすれば、そこに求められるものは大きな社会性と社交性であろうと思います。具体的には自分というカラに止りこもらず、自らを解放し、進んで会話を求める態度こそがすべてでなければなりません。つまり「理解し、理解されよう」とする努力、言葉を代える「広く、深く」ということにはなれないでしようか。

健康は市民にとって等しい願いであり、従って行政の重要な柱であります。ところでその健康の尺度は計りかねる面もありますがこの現象をどうみたらよいでしょうか。

### 健康増進

健康は市民にとって等しい願いであり、従って行政の重要な柱であります。ところでその健康の尺度は計りかねる面もありますがこの現象をどうみたらよいでしょうか。

### 留山健治郎

### 期待される新エネルギー開発

石炭が「黒いダイヤ」としてはやがて、「炭坑節」のにぎやかなリズムが全国津々浦々に響きわたったのは、思えばもうずいぶん昔昭和三十年

代までのこと。以来すっかり忘れてからいた石炭が、今またエネルギー源多様化の有力な目玉として脚光を浴びるようになった。しかし、石



### よみがえる「黒ダイヤ」

炭も姿を変える必要があります。かつて戦後の経済復興を支えた石炭が、その後の高度成長時代に「主役」の座を石油に奪われた最大の理由は、輸送と貯蔵に手間も費用もかかりすぎる欠点を持っていたからです。この欠点をなくすため、石炭を気体や液体に変えてしまおうと、さまざまな研究が進められていまが本格的に実用化するにはもう少し時間がかかりそうです。

それでは、実用化までの間はこれいこうと考えられているが、石油と石炭をミックスした「コイロイダル燃料」。石炭を〇・一ミリぐらいの粉末にして重油と混ぜると、パイプラインで輸送できるし、タンカーにも積める……というわけだ。

「石炭の復活」は現実のものとなってきています。